



# みみぷくだよ！

令和元年7月19日発行  
第2号

第1回みみらんどセミナーを実施しました。

## 令和元年度 第1回みみらんどセミナー 報告

- ★ 日 時 ★ 令和元年度6月19日（水）10：45～11：45
- ★ テーマ ★ 「きこえにくい子の心とことばの育ちを支えるために」
- ★ 講師 ★ 聴覚支援学校福島校 教諭 今野千寿

### 1 うちの子、 こんなふうに育ってほしい

「3年後、10年後、こんなふうに育っているといいな」という姿をイメージする。今だけを見る視点から、将来の姿から今を見る視点に変えてみることも大切です。

### 2 福島校で大切に指導していること

新学習指導要領をふまえ…

福島校幼稚部

- ・気づいたことや感じたことを表現する姿。
- ・主体的に人や物とかかわり、考えて行動する姿。

福島校小学部

- ・基本的な学習態度、理解して使える言葉の広がり。
- ・互いに認め合い、他者の気持ちに気付いて行動する姿。

### 3 心とことばの育ち

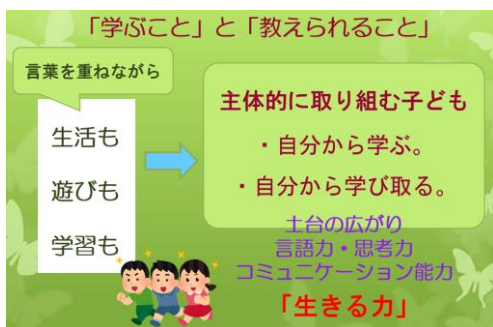
#### ●子どもの育ちは氷山のように…

子どもを氷山とすると、水面の上に見える部分は、周囲の人にもわかりやすいが、水面の下にある内面の感情や考えていることは周囲の人からはわかりにくい。わかりにくい水面の下にあることを大人が理解し、共感したりことばを重ねたりしていくことで、土台を大きく育てていきましょう。



#### ●学校と家庭で一緒に取り組みたいこと

- ①生活リズムを整える。
- ②からだを使ってたくさん遊ぶ。
- ③子どもの関心や気持ちに目を向ける。
- ④子どもの気持ちや考えを受け止める。
- ⑤子どもが選んで決める経験を重ねる。
- ⑥子どもを認める。



#### <参加された方々の感想> ※一部抜粋

- ★子どもの「何年後」を想像することがなかったので、よい機会でした。
- ★ことばも心も土台作りがとても大事だと、改めて確認できました。家庭でも丁寧なやりとりを心がけたいです。

ご参加ありがとうございました。





# 夏の補聴器や人工内耳の管理について 勉強しました！



じめじめと雨が続く梅雨、そして、暑い夏。気温も湿度も高くなるこの時期、子どもたちは、たくさんの汗をかきながら学習したり遊んだりしています。補聴器や人工内耳は、防水の技術が進んできている…とは言え、汗や水にぬれることは故障につながる原因となります。大切な補聴器や人工内耳の手入れを自分でできることを目指して、「夏の補聴器・人工内耳の管理の仕方」を小学部自立活動の時間に学習しました。

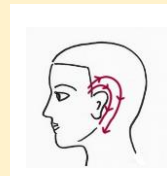
心地よい聞こえで過ごせるように、  
お子さんと一緒に点検してみてください！



★ カバーをつけよう。

★ 耳の周りの汗をふこう。

★ プールに入るときは、ケースにしまおう。



プールに入る時の補聴機器の管理についても確認しました。

<プールに入る前>

①補聴器や人工内耳を外して、スイッチを切る。

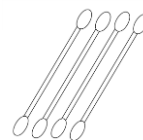


②ケースに入れる。

<プールに入った後>

①髪や顔、耳のまわりの水をふき取る。

②綿棒で耳の中の水をふき取る。



③髪や耳が乾いたら、補聴器や人工内耳を着ける。

お子さんに「みみファイル」を配布しました。耳のこと、補聴器のこと、人工内耳のことなど、ご家庭でも、ぜひ話題にしてください。



連絡先 福島県立聴覚支援学校 福島校

TEL & FAX 024 (531) 5013

アドレス <https://fukushima-sd-fukushima.fcs.ed.jp>

担当 地域支援センター「みみらんど ふくしま」

今野千寿（特別支援教育コーディネーター）

こちらのQRコードからHPにアクセスできます。

